



ようこそ、カトリック池田教会へお越しくださいました。

教会でお祈りをなさりたい方は、
“どなたでも” ご自由に
お入りください。



キリストの受難

カトリック池田教会

共同宣教司牧： 畠 基幸(はた・もとゆき) 神父

松本一宏(まつもと・かずひろ) 神父

協力司祭： デニス・マックゴワン 神父

住所： 〒563-0041 池田市満寿美町9-26

TEL： 072-751-2400 FAX： 072-753-4624

URL(ホームページ)：

http://www.wombat.zaq.ne.jp/catholic_ikeda/



目次

カトリック池田教会の歩みと宣教師
年間の典礼季節と諸行事

小教区の組織

祈り

学び

キリスト教入門講座・信仰講座

信者の奉仕職コース

洗礼に向けたコース

子供たちの信仰養成

日曜学校・お泊まり会・お祈り会

中高生の聖書勉強会 青年の集まり

交わり

アルファ・コース・おしゃべりコーナー

ドレミの会

教会外での社会活動

御受難修道会のミッション

日本の御受難修道会

御受難会ファミリー

御受難女子修道会

カトリック聖マリア幼稚園





カトリック池田教会の歩みと宣教師

わたしたちの教会は、大阪教区田口芳五郎司教の要請に応じて5人の米国人御受難修道会宣教師が1953年に来日した時から始まります。1953年3月にリーダー格のマテオ・ベッター神父とカール・シュミッツ神父が来日し、5月に宝塚雲雀丘に廃校した学園の校舎を改造して修道院を設立、8月に残りの3人の若い宣教師が来日して、宣教活動が始まりました。翌年1954年には、最初の洗礼式が雲雀丘修道院であり、カール神父の人柄を慕う洗礼希望者が増えました。こうして1955年12月、豊中教会から司牧地区を分離して池田教会が誕生し、初代主任司祭にカール神父が任命されました。

カール神父は小教区に保育園を併設する計画を立て、1957年に保育園園舎を完成させ、翌年ウィチタの聖ヨゼフ修道会からシスターを招き「聖ヨゼフ児童館」が設立されました。1957年に来日したデニス・マックゴワン神父が2年間の日本語習得後、池田教会に助任として赴任し、児童館館長に就任。幼児たちに神の慈しみの愛を教え、それに応えるキリストの心を育てました。

1964年3月20日、御受難会の最初の邦人司祭國井健宏神父が誕生し、その指導の下1965年保育園舎の教室を併用した旧聖堂に替わり新聖堂（現在の聖堂）が建立されました。1966年児童館は、「カトリック聖マリア幼稚園（宗教法入立）」として新しい園舎とともに始まりました。1970年福音の光修道会に幼稚園の園児の指導を委ね、シスターが毎日曜日のミサ奉仕や日曜学校のカテキズムの指導、またお母さん方の相談相手として教会の発展に尽くされました。

また、卒園生は、池田教会でデニス神父を慕って結婚式を望むことが多く、1980年代には毎年30組を超える結婚式が行われました。1983年12月、川西市、豊能郡、猪名川町の人口拡張に伴い、猪名川町に「カトリック日生中教会」が池田教会の信徒の協力によって新しく姉妹教会として誕生しました。



このようにして最初の25年間で池田教会の基盤が固まったことが分かります。半世紀にわたりデニス神父が幼稚園園長を兼務し、その間、パウロ神父、クレメント神父、國井神父が主任を歴任し、ブラザー雲田が助祭となり主任を補佐しました。1992年には、信徒会館と司祭館の落成式が行われ、信徒会館はカール記念館と命名されました。カール神父は、日本での20年間の宣教活動の後、フィリピンの山岳少数民族の宣教のために働き、1988年4月9日復活の木曜日に、部族の生活資源である森林を不法に伐採する企業を非難したために共産主義者のレッテルを張られて殺害されました。カール神父は生涯一貫して、貧しい人々に寄り添い、声なき人々の声として働きました。カール神父の預言者的な生き方は、私たちの教会の誇りであり模範です。現在列福の請願が教皇庁に提出され列聖調査中です。



犬をなでるカール神父様

池田教会は、2005年に50周年を祝い、このほど60周年を迎えます。「受けるよりは与える方が幸いである（使徒20:35）」の主イエスの言葉を思い起こしております。持続可能な小共同体造りが現在模索され、「みことば」の分かち合いによる主の現存を共同体の中心に置く学びの日々です。「幸いな人」となれるように、信者一同お互いの模範を学び成長することができるように願っております。

2015年12月 共同宣教司牧代表 畠 基幸神父





年間の典礼季節と諸行事

- 1月 **降誕節** 一神の母聖マリア 元旦ミサ・新成人の祝福
年間 (主の洗礼の主日の翌日から)
- 3月 **灰の水曜日**から**四旬節**が始まります。(十字架の道行の祈り)
- 3～4月 **復活節** 過ぎ越しの聖なる三日間、復活祭(教会の最も盛大な祝日)
初聖体のお祝い・侍者入会式
- 5月 聖母マリアの月・ロザリオの祈り
信徒総会(前年度活動と当該年度の予定の報告)
聖霊降臨(復活節は聖霊降臨で終わり、**年間**がはじまります。)
- 8月 聖母被昇天ミサ 平和祈願ミサ
- 9月 十字架称賛の祝日 高齢者への感謝ミサ
- 10月 ロザリオの月 教会バザー
十字架の聖パウロの祝日(御受難会創立者)
- 11月 死者の月 第一主日 合同慰霊祭
七五三の祝福
- 12月 **待降節** クリスマス チャリティー・コンサート
クリスマス ミサ、クリスマス会

この他に、大阪教区主催の式典や北摂地区の活動や催し、高山右近列福祈願ミサ、平和祈願ミサ、国際協力の日、北摂地区大会、があります。

評議会の常設委員会の種々の催しや研修や活動もこの教会の豊かさの特徴です。



小教区の組織

◎**評議会** … 司牧チームと信徒から選ばれた議長・副議長・書記と常設委員会の代表で構成し、小教区における協議・識別・決定・執行を行う機関です。信徒は8つの常設委員会(総務・財務・典礼・研修・福音宣教・社会活動・広報・地区)に自発的に参加することが期待されています。

◎**信徒総会** … 評議会は毎年少なくとも1度は前年度の活動の活動を報告し、重要な決定を行うために信徒総会を開き、信徒の自由な意見を聞くことになっています。

◎**地区集会**… 池田教会に来られる信徒は日常生活で信仰を活かすために5つの地区(池田I,池田II,川西,宝塚,その他)を単位とした集会を持ち、協働し、年間行事のミサ奉仕、祝祭、冠婚葬祭の奉仕に参加します。集会と奉仕活動は、兄弟姉妹の共同体のつながりを深める機会になり、祈りや聖書の分ち合いによって信仰を深めることができます。

祈り 主日のミサ

教会活動の中心です。日曜日を「主日」と呼ぶのは主が復活された日を祝うからです。感謝の祭儀をミサと呼び、イエスの死と復活を通して救いが世に与えられた喜びを感謝し賛美するために集まります。聖歌隊、朗読者、共同祈願、侍者など奉仕者の務めによって全教会がミサをささげます。

日曜	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜
9:00	7:00	7:00	18:30	7:00	9:30 初金	7:00 19:00

初金 夜6:30～7:30 聖体賛美式と祈りの黙想

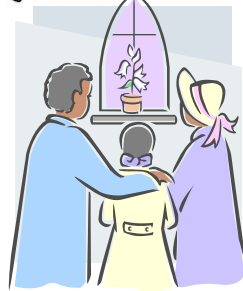




キリスト教入門講座・信仰講座

木曜日 10:30 聖書 100 週間

金曜日 10:30 幼稚園のお母さんの聖書勉強会
ご希望のかたは、お気軽に受付へ声をおかけください。



信者の奉仕職コース 北摂地区八教会 合同主催

洗礼に向けたコース

入門コースや主日のミサに参加して信仰を深め、信者として人生をキリストの死と復活の生き方に従いたいと願う方を対象として、その方にあう時間帯を設けて洗礼に導きます。(四旬節第一主日 **洗礼志願式**)

子供たちの信仰養成

◎日曜学校

毎日曜日のミサ後に開催しています。

(第4土曜日の次の日曜日は、ありません)

クラスは4つに分かれています。

幼稚園・小学校1年生のクラスは、リーダーと工作をしたり、絵本を読んだりして、楽しく過ごしています。

小学校2年生のクラスは、テキスト『うれしい はつせいたい』を使って、翌年の復活祭に行われる初聖体の準備をします。

小学校3・4年生のクラスは、テキスト『こみち』を使って、聖書と教会の教えを勉強します。

小学校5・6年生のクラスは、テキスト『いのち』を使って、より深く聖書と教会の教えを勉強します。



通常クラスの他、月1回開催されるお泊り・お祈り会、8月の池田教会・日生中央教会合同キャンプでお友だちと楽しく遊び、お祈りします。

12月中旬に行われるクリスマス会は、各クラスが歌や紙芝居・ペープサート・劇を考え、皆様の前で披露し、主のご降誕(人となってお生まれになられたこと)をお祝いします。

◎お泊り・お祈り会

お泊り・お祈り会は、子供たちがお祈り、聖書、聖人の生涯などを通して、カトリックの文化や価値観を身につける一味違う信仰教育の一環です。

お泊り会では、参加する子供たちが、子供から大人までの信者同士の交わりと信仰に基づいた集団生活を体験することができます。

対象年齢：幼稚園年長組(一人で寝られる子)～小学校6年生

日時：毎月第4土曜日(7月・12月・3月は休み)

17:30～受付、18:00～開始

場所：カトリック池田教会 カール記念館

費用：一人500円(食費)

持ち物：ロザリオ、パジャマ、洗面具、シーツ、着替え

禁止物：ゲーム、カード、漫画、携帯電話

(ご両親が必要と判断する場合を除いて)



◎中高生の聖書勉強会

日曜学校の延長として、ミサ後に聖書の勉強をしています。

◎青年の集い

青年たちがカテキズムを学ぶ会も始まっています。テキストに「YOUCAT」を使います。

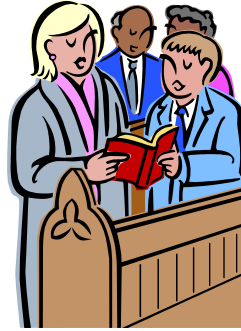




交わり

◎アルファ・コース

キリスト教のことを何も知らない人、キリスト教の初心者、更にもっと信仰を深めたい人等を対象として、「キリスト教とは」「イエスとは」「神の導きとは」等、15のトークが収められているDVD（各45分）を見て、その後、お茶を飲みながら皆で楽しく分かち合いをする場です。友達作りの場ともなり、また1年に1～2回の同窓会で絆をより深める場にもなっています。



◎おしゃべりコーナー

初めて教会に来られた方、ミサに与った後、知人も少なく、誰とも言葉を交わさずに帰られる方、そんな方のために「おしゃべりコーナー」があります。ミサ後ちょっとお茶でも飲んで、神父様や周りの方々とおしゃべりを楽しみませんか。お友達もできて、教会に来るのが楽しくなります。参加しているうちに、洗礼を受けた方もいますよ！誰でも自由に参加できる“おしゃべりコーナー”へどうぞ！！

◎「ドレミの会」への協力

「どんなにハンディキャップの重い人でも、人間として愛され、尊敬され、人として進歩するための権利を持っています。全ての人は神によって平等に愛されているからです。」フランス人ジャン・バニエ氏によって1971年創立された共同体の精神に支えられる「ドレミの会」は、この「信仰と光」の精神に沿って音楽を中心に活動する、障がい者の交流会です。毎月第2土曜日の午後、カール記念館で活動しています。多くの友人、スタッフに支えられ、カール記念館の開館と同時に1992年発足以来、一度も休むことなく開かれ、多くの障がい者、その家族の憩いの場になっています。連絡先は「ドレミの会」の代表、村嶋伸子まで。



◎教会外での交わり（社会活動）

1995年阪神淡路大震災以降、大阪大司教区の新生計画、5つの教会像の中の、「谷間に置かれた人々の心を生きる教会」や「交わりの教会」という教会像を具体的に生きるために、教区事務局の中に「社会活動センター（シナピス）」が設けられました。一つの小教区では、人々の様々なニーズや悩みと苦しみに応えられないほど問題は複雑化し多様化しているのです。シナピスは専門分野の人材や必要に応じてボランティアを募集する要の活動センター機能と社会問題や社会活動のための勉強会や研修会を主催する養成センターとしての機能があります。池田教会は、北摂地区八教会の社会活動委員会と連携し活動を行い、また、教会独自の社会活動も活発に行っています。（池田カトリック新聞「からしだね」）

「現代の人々の喜びと希望、苦悩と不安、とくに貧しい人々とすべての苦しんでいる人々のものは、キリストの弟子たちの喜びと希望、苦悩と不安でもある。真に人間的なことがらで、キリストの弟子たちに心に響かないものは何もない。なぜなら、彼らの共同体は人間によって構成されているのであり、彼らはキリストにおいて一つに集められ、父の国に向かう旅路において聖霊によって導かれ、すべての人々に伝えるべき救いのメッセージを受けているからである。したがってこの共同体は、人類とその歴史とに現に深く連帯していると実感している。」（現代世界憲章 第一項）

カール神父の預言者的な生き方は、「イエス・キリストを証しするために、殉教に至るまでその全生涯を差し出しますが、敵を増やすことを望んでいるわけではありません（教皇フランシスコ『福音の喜び』p32）」。むしろ、キリストの光に照らされながら、全人類の一致と平和に寄与することを望んでいるのです。

「仕えられるためではなく、仕えるためにこの世に来られたキリストご自身のわざを弁護者である聖霊の導きのもとに継続する」ことを切に望むのです。





御受難修道会のミッション

1720年、御受難修道会は、イタリアで十字架の聖パウロによって創立されました。苦難の印象を与える「御受難」のタイトルは、会憲にある「聖パウロは、当時の人々を苦しめていた悪を鋭く捉え、それを癒す最も強力な手段は、イエス・キリストの御受難、すなわち『神の愛の最も偉大で圧倒的な業』であることを力説した」という創立者のインスピレーションに基づくものです。現代も「神は愛」という真理は変わらぬものとして会員は、「キリストの受難」を現代の苦しむ人々の中に見て、人々に同じインスピレーションを伝えるため、祈りの指導や小教区黙想会を主な使徒職としてきました。最近「地球の受難」という観点からJ P I C（正義と平和と地球環境の保全）のために働く会員が各国の諸団体(NGO)と連帯して現代の苦しみに寄り添う使徒職を発展させています。

◎日本の御受難修道会

宝塚修道院・宝塚黙想の家（本部事務、黙想の家使徒職）

〒665-0854 宝塚市売布山手町 10-1

☎ 0797-84-3111

◎宗像修道院・福岡黙想の家（小教区黙想・黙想の家使徒職）

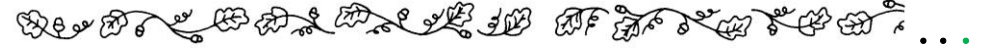
〒811-4155 宗像市名残1056-1

☎ 0940-32-3222

◎東京修道院・みことばの家（神学生・志願者養成の家）

〒162-0815 東京都新宿区築土八幡町2-1

☎ 03-3260-5915



御受難会ファミリー

◎御受難修道女会

創立者は男子と同じ十字架の聖パウロです。男子修道会と同じ精神ですが、男子が外に出向く使徒職であるのに対して、女子は、観想修道会として禁域を守り、祈りの使徒職に専念します。「主の受難の記憶」を人々伝えるため、祈りと黙想の場を修道院の中に設けている。

〒665-0854 宝塚市売布山手町10-2 悲しみの聖母修道院

☎ 0797-84-7863

◎カトリック聖マリア幼稚園

（学校法人カトリック聖マリア学園1984年認可）

1984年に学校法人カトリック聖マリア学園として認可され、現在に至ります。カトリックの理念に基づき、聖堂での祈りや聖歌の機会を設け、子供たちに神様の愛を伝え、家庭と連携し子供たちに優しく親切な心を育む初歩的な教育を行っています。

理事長・園長 松本一宏神父

〒563-0041 池田市満寿美町 9-26

☎ 072-751-4428

FAX 072-751-4514

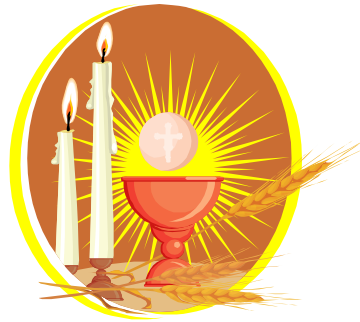




御受難には癒しの力があります

あらゆる苦痛を癒す香油はイエス・キリストの至聖なるご受難です。
その時、わたしたちは、至誠なるみ旨に自分自身を結び付け完全に委ねます。
すべての出来事において、神の至誠なるみ旨をよく行うことだけに気を配って、
一瞬一瞬を生きながら神の御ふところに憩う人は何と幸せでしょう。

—— 十字架の聖パウロのことば



ミサの聖体の秘跡をイメージしたもの



アクセス

阪急宝塚線池田駅より南へ約400メートル

〒563-0041 大阪府池田市満寿美町9-26

TEL (072) 751-2400

FAX (072) 753-4624

